

令和7年度（2025年度）江戸川区立清新第一小学校（算数）科 第（5）学年			
年間指導計画 及び評価規準			
【知技】…知識技能 【思判】…思考判断 【主体】…主体的に学ぶ			
単元名	評価項目	評価規準	
4 整数と小数/体積			
【知】 整数や小数の十進数としてのしくみを理解し、ある数の10倍、100倍、1000倍、 $1/10$ 、 $1/100$ などの大きさの数を、小数点の位置を移して作ることができる。			
【思】 整数と小数の表し方のしくみに着目し、数の相対的な大きさを考察し、十進位取り記数法としてまとめ、数と式の表現や計算などに有効に生かしている。			
【主】 整数や小数について、数学のよきに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。			
5 体積			
【知】 体積の単位「㎤」と測定の意味、単位の関係について理解し、直方体及び立方体の体積を公式を用いて求めることができる。			
【思】 体積の単位や图形が構成する要素に着目し、图形の体積の求め方を考察しているとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。			
【主】 直方体や立方体の体積について、数学的表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよきに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。			
1学年 6 角形			
【知】 簡単な場合について2つの数の関係あることを知ることとともに、数量の関係を表す式についての理解を深めている。			
【思】 併せて変わるべき2つの数について、それらの関係に着目して表を用いて変化や対応の特徴を考察したり、対応や変わり方に着目して簡単な式で表されている関係について考察したりしている。			
【主】 併せて変わるべき2つの数について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよきに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。			
7 小数のわり算			
【知】 除数が小数である場合の乗法の意味について理解し、小数の乗法の計算ができる。また、小数の乗法についても整数の場合と同じ関係や法則が成立つことを理解している。			
【思】 乗法の意味に着目し、乗数が小数である場合で数の範囲を広げて乗法の意味を捉え直しているとともに、それらの計算のしかたを考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。			
【主】 小数の乗法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよきに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。			
8 整数の見方/分数の大さきとたし算、ひき算			
【知】 整数は観点を決めると偶数と奇数に別別されることや、約数、倍数について理解し、それらを求めることができる。			
【思】 整数は観点を決めると偶数と奇数に別別されることや、約数、倍数について理解し、それらを求めることができる。			
【主】 整数の性質や整数の構成を調べることについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよきに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。			
9 分数の見方			
【知】 分数の分母、分子に同じ数を乗除してできる分数は、ものの分母と同じ大きさを表すことや、分数の相等及び大小について理解し、大小を比べることができます。また、異分母の分数の加法及び減法の計算ができる。			
【思】 分数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察している。また、分数の意味や表現に着目し、異分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを考えている。			
【主】 分数の意味を表し方、異分母の分数の加法及び減法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよきに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。			
10 平均/単位量当たりの大きさ			
【知】 いくつかの数量を同じ大きさの数量にしならすことで妥当な数量が得られる場合は、測定値を平均するといふことを理解し、平均を求めることができる。			
【思】 概括的に捉えることと観察し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かしている。			
【主】 平均について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよきに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。			
11 わり算と分数/割合			
【知】 連さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方にについて理解し、それらを求めることができる。			
【思】 異種の2つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比較したり表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かしている。			
【主】 異種の2つの量の割合として捉えられる数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよきに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。			
12 割合とグラフ			
【知】 円グラフや棒グラフの特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。また、データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知っている。			
【思】 目的に応じてデータを集め分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察している。			
【主】 データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよきに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。			
1 四角形や三角形の面積			
【知】 平行四辺形、三角形、台形、ひし形の面積の計算による求め方について理解し、それらの面積を公式を用いて求めることができる。			
【思】 図形を構成する要素などに着目して、基本图形の面積の求め方を見いだしているとともに、その表現を振り返り、無理からずの確実な表現に高め、公式として導いている。			
【主】 四角形や三角形の面積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよきに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。			
2 正多角形と円/角柱と円柱			
【知】 円と関連させて正多角形の基本的な性質について理解し、正多角形を作用することができる。また、円周率の意味について理解し、円周の長さや直径の長さを求めることができる。			
【思】 図形を構成する要素及び图形の関係に着目し、構成のしかたを考察したり、图形の性質を見いだし、その性質を転写表を立てて考え方を明確にしている。			
【主】 正多角形と円について理解し、見取図や展開図を作図したり、展開図をもとに構成したりすることができる。			
3 年のまとめ			
【知】 角柱や円柱について理解し、图形の性質を見いだしているとともに、その性質をもとに既習の图形の捉え直ししている。			
【思】 角柱や円柱について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよきに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。			
【主】 第5学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。			